

わたしたちの PTA

～工夫した活動で、
楽しくつながるPTA～

特色あるPTA活動～令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞団体より～



警察と連携した交通安全啓発活動

鏡野町立郷幼稚園PTA

地域と密着し、活動を工夫し進めるPTA活動

少ない人数で活動していますが、老人会や婦人会など、地域の団体と連携・協力することで、活動の活性化を図っています。

昔遊びや老人会も参加する運動会、地元警察と連携した交通安全啓発活動等、様々な取組を行っています。



大学生と連携した土曜日学習会

岡山市立福田中学校PTA

学習支援や教育環境整備に取り組む

休業日における学習支援活動として、大学生ボランティアを募集し中学3年生を対象としたPTA主催の土曜日学習会を実施しています。

取組を通し、保護者同士の親睦を深めることにも寄与しています。

上記2団体の取組の詳細は、文部科学省のホームページでご覧いただけます→



目次

○表紙

・鏡野町立郷幼稚園PTA ・岡山市立福田中学校PTA

○PTAは何のためにあるの？どんな活動ができるの？ ……P1

○子どもたちの健全な成長のためにひろがる県内のPTA活動……P2

・倉敷市立長尾幼稚園PTA 「子どもたちと保護者の笑顔のために」
・瀬戸内市立裳掛小学校父母と教師の会 「基本的な生活習慣定着」

○県の取組、PTA活動のヒント・PTAとしてできること

テーマごとに、特に対象となる校種を示しています。
活動の参考にしてください。



岡山県「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上
マスコットキャラクター

	テーマ		主な対象
①	非認知能力の育成について ～PTA研修で学びませんか？～	……P3	幼稚園・こども園PTA
②	子どもの「学ぶ力」を育てるために ～子どもが伸びる家庭学習とは？～	……P4	小学校・中学校PTA
③	適切な「スマホ・ネット」の利用について ～すすめよう家庭のルールづくり～	……P5	全校種PTA
④	デジタル機器と上手に付き合うために	……P6	全校種PTA
⑤	生活習慣を整えるための取組 ～チャレンジ・カードのススメ～	……P7	全校種PTA
⑥	就学前から高等学校等卒業後の 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実	……P8	全校種PTA
⑦	キャリア教育への参加	……P9	全校種PTA
⑧	人権教育の研修を充実させるために	……P10	全校種PTA
⑨	「親育ち応援学習プログラム」について	……P11	全校種PTA
⑩	子育て支援の情報	……P12	全校種PTA

PTAは何のためにあるの？ どんな活動ができるの？

PTAとは… Parent (親)
Teacher (教師)
Association (組織)
の頭文字をとったもの

保護者と教職員は**対等な立場**で
互いに高め合う
良き「パートナー」
です

PTAは、「子どもの健全な育成を図ること」

を目的とし、保護者と教職員が協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、相互に学び合い、活動を行う社会教育関係団体です

集う・支える活動

- 子どものために教育環境を整備する活動**
学校園の環境整備、通学路点検、あいさつ運動、
通学の見守り、資源回収 等
- 子どもたちと関わる活動**
学校の教育活動へのボランティア、
生活リズム向上の取組 等



つながる活動

- PTA会員同士がつながることができる活動**
PTA種目（運動会）、学級PTA活動、
PTAレクリエーション大会 等
- PTAの情報を共有する活動**
広報紙やポスターの作成・啓発、
ホームページやSNSによる発信 等



学び合う活動

- 学校の方針や目標等を理解するための学習**
懇談会（学校・学年・学級・地区）、
学年・学級PTA活動 等
- 会員自らの成長のための学習**
研修会等への参加や企画・運営、
「親育ち応援学習プログラム」の実施 等



Point!



個人情報の取扱い

PTAも個人情報保護法の適用対象です。個人情報の取扱いは慎重に行いましょう。

保護者と教職員で子どもへの思いを共有して
PTA活動を進めましょう

子どもたちの健全な成長のために 笑顔あふれる県内のPTA活動

～令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞団体より～



子ども向けバザー「おもちゃ屋さんごっこ」①



子ども向けバザー「おもちゃ屋さんごっこ」②

子どもたちと保護者の笑顔のために (倉敷市立長尾幼稚園PTA)

PTAが主体となり「お菓子屋さんごっこ」「おもちゃ屋さんごっこ」として子ども向けのバザーを開催しています。園児は役員が作成した通貨を使用し買い物体験をすることで、買い物をする楽しさと共に、順番を守ったり、お金を払ったりといった公共のルールについて学ぶことができます。

また、役員決めの際には役員の仕事を丁寧に説明するとともに、役員になってよかったエピソードも話し、役員になることを前向きに捉えてもらえるようにして理解と協力を呼びかけています。さらに、活動について事前に保護者からアンケートを取ることで、保護者の思いを聞き、活動に反映しています。また、会員数が減少する中、活動の見直しを行い、会員の負担軽減を図っています。



基本的な生活習慣定着 (瀬戸内市立裳掛小学校父母と教師の会)

PTAの努力目標に「眠育」を掲げ、「学習支援＆生活リズムがんばりカード」を活用して、目標就寝時刻に向けた帰宅後の時間の使い方を考えて過ごす取組を継続して行っています。

また、PTAと地域が協力し、児童が行事で訪れる^{たまかづら}玉葛山の山道整備をしたり、学校支援ボランティアと保護者が協力して校内の環境整備を行ったりしています。学校支援ボランティアとPTAとの連絡会を設け、行事予定を確認しながら意見を出し合うこともしています。さらに、教育活動を支援するための連携体制を整えたり、地域行事に合わせて参観日を開催したりすることで、地域住民と学校のつながりを構築しています。役員会には、希望者も参加できるようにし、会員の意見を尊重しながら活動を行っています。



親子で参加する「インターネット安全教室」



学校支援ボランティアと行う校内の環境整備

① 非認知能力の育成について ～PTA研修で学びませんか？～

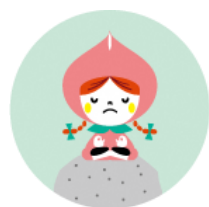
非認知能力を育成しよう！

子どもたちが生きるこれからの時代は予測困難な時代と言われ、今後はさらに状況に合わせて自分なりの答えを見つけていくことが求められます。諦めずに答えを見出すためには、「非認知能力」というテストなどで客観的な点数(数値)にできない力が必要だと言われています。

家庭で育みたい3つの非認知能力

「自分を高める力」

やる気・意欲・向上心・
挑戦心・楽観性など



「他者とつながる力」

協調性・社交性・共感性・
コミュニケーション力など



「自分と向き合う力」

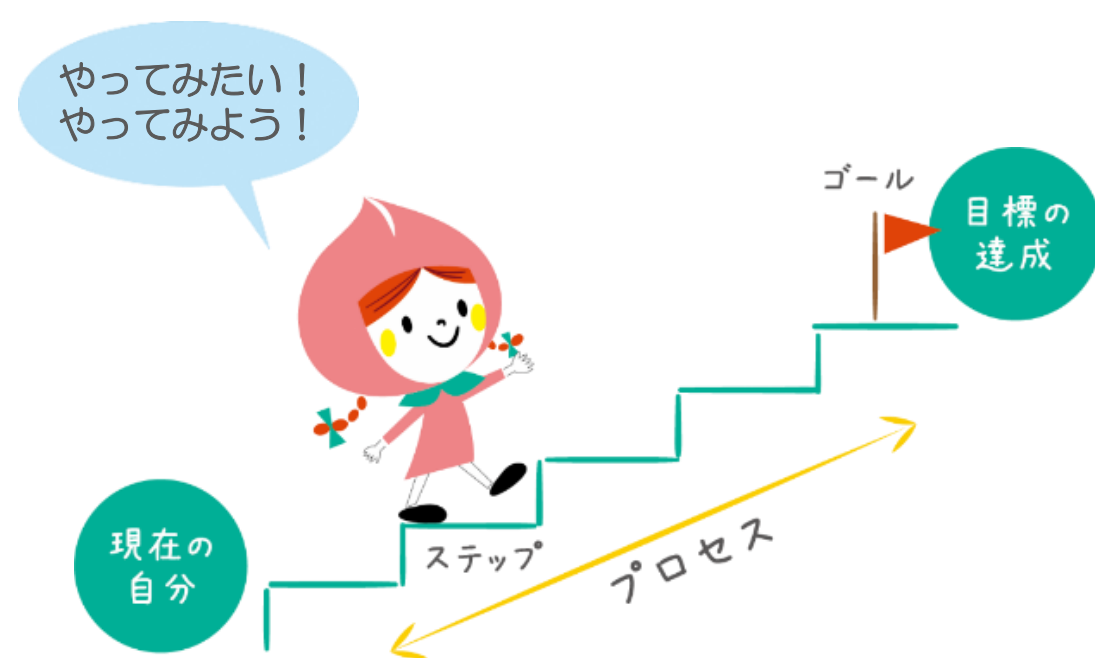
ねばり強さ・我慢強さ・
回復力など



意欲ややる気を育む関わり

子どもの「やってみたい」「やってみよう」という意欲ややる気の育成は、子どもにとって身近な大人の関わりが大きく関係します。

保護者が子どもの姿(結果やゴールではなくプロセス)から「いいところ」を見つけ、意識づけすることで非認知能力は育まれます。



就学前の「非認知能力」について学べるプログラムがあります

岡山県教育委員会では、令和4年度から指導者養成の研修を行い、令和6年度以降、市町村における保護者向け研修会の実施を進めています。

プログラムには、ワークブックを活用した、3日間で深くしっかり学ぶプログラムと、短時間(30～60分)で、基礎知識を学ぶプログラム(親育ち応援学習プログラム)があります。

PTA研修会等で、ぜひご活用ください。



- ・PTA研修会
- ・就学時健診
- ・学級懇談会
- ・子育てサロン
等で活用できます

「就学前の非認知能力レンズで『いいところ』みつけ!!」ワークブック



【子どもの名づけの由来から育みたい非認知能力を考えよう】

「非認知能力って何だろう? 子どもたちに育みたい非認知能力について考えてみましょう。」

エピソード
Aさんは娘の名前から「わたしの名前にはどういった意味がある?」と聞きました。どうやら学校で「生まれたときの「名づけの由来」をおうちの人に聞いてみてください。」という課題が出たようです。Aさんは娘さんの生まれたときのことを思い出しながら考えてみました。

「簡単(はるか)」・・・春の太陽の日差しのように暖かく、まわりの空を包み込むように、優しいあふれる子孫にでも優しく、思いやりある子孫に育ってほしい

① お子さんが生まれたときのことを思い出して書いてください。

② お子さんの名前は何か? どんな由来の由来ですか? どんな由来の由来ですか? どんな由来の由来ですか?

③ 今の娘さんはどんな子ですか? どんな子ですか? どんな子ですか?

【がんばった、がんばっている姿を大切にしよう】

「非認知能力って何だろう? 子どもたちに育みたい非認知能力について考えてみましょう。」

日々、子育てをしていると嬉しいことや暖かいこと、たくさんありますよね。就学前に、お子さんの成長を少し振り返ってみませんか。そして、頑張っている姿を自分のことこの機会にぜひ見つめてみてください。

① あなたが今までに「がんばった」と思えることは何ですか?
例・目標に向かって意欲的に「がんばった」こと
・辛いことやうまくいかないことがあっても気持ちを切り替えて「がんばった」こと
・奮闘と協力したり、新しいことを見つけながら「がんばった」こと

なぜ、がんばることができましたか?

② 最近、お子さんについて「がんばった」「がんばっているな」と思ったことは何ですか?
お子さんは、なぜ、がんばることができていると思いますか?

③ 気づきや感想(振り返り)

【子どもの成長を振り返ろう】

「非認知能力って何だろう? 子どもたちに育みたい非認知能力について考えてみましょう。」

エピソード
Aさんは5歳の息子のB君と一緒に近所の公園に遊びに行きました。公園に着くと、B君の友達と遊んでいて、A君は待たず遊び始めました。最初はジャンプシム、次にすべり台、最後は滑り台で遊んでいました。その様子を見ながらAさんは、B君の小さい頃を思い出していました。

Aさん「ジャンプシムは最初は怖かったけど、今は一番上まで登れるようになったなあ。すべり台は順番を守って、順番では友達に「スコップ貸して」と言うことができる。いろいろ心配することもあったけど、B君も成長したなあ。」

① お子さんの成長を振り返って書いてください。ご自身のお子さんの成長を感じる姿や行動を思い出して書いてみましょう。

成長を感じる姿・行動は、どの非認知能力と関係がそうですか?
高める力 (例: 滑り台の順番を覚えることができる)
向き合う力 (例: すべり台の順番を覚えることができる)
つながる力 (例: 「スコップ貸して」って友達に伝える)
想(振り返り)

「親育ち応援学習プログラム」の非認知能力の育成に関するプログラム(3種類)

【担当課】

岡山県教育庁生涯学習課
086-226-7597

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



②子どもの「学ぶ力」を育てるために ～子どもが伸びる家庭学習とは？～

子どもの主体的な学びをサポートしましょう！

⇒ 小学校段階では？

小学生の時期に、学ぶ意欲を高め、家庭学習の習慣を身に付けておくことが大切です。子どもの学習の様子を見守り、声掛けをしながら主体的に学習に取り組めるようサポートしましょう。

- ①子どもとの会話やふれあいを大切にしましょう！
- ②学習環境を整えましょう！
- ③子どもの学習の様子を見守り、頑張りを認めましょう！

⇒ 中学校段階では？

中学生の時期は、思春期ならではの悩みや不安で気持ちが揺れ動き、関わりが難しい時期ですが、自立した大人への成長段階と捉え、温かく見守りましょう。

- ①規則正しい生活習慣をサポートしましょう！
- ②計画的に学習を進める習慣を身に付けさせましょう！
- ③将来の夢や進路を見据えた学習ができるよう応援しましょう！

子どもと一緒に考えてみませんか？

夢に挑戦することは、何歳になっても自分を高める原動力となります。「どんな自分でありたいか」、生涯を通じて問い続けることも大切なことです。

「夢ボイスチャンネル」の動画は、子どもたちが自分の将来を真剣に、そして前向きに考える活動を応援するため、岡山ゆかりのセンパイが夢の実現に至るまでの道のりについて語っています。



♡ 岡山ゆかりのセンパイからのメッセージ ♡



岡山県マスコット ももっち

「夢ボイスチャンネル」の動画や、家庭学習についてさらに詳しく知りたいときは、右の二次元コードからアクセスしてください。

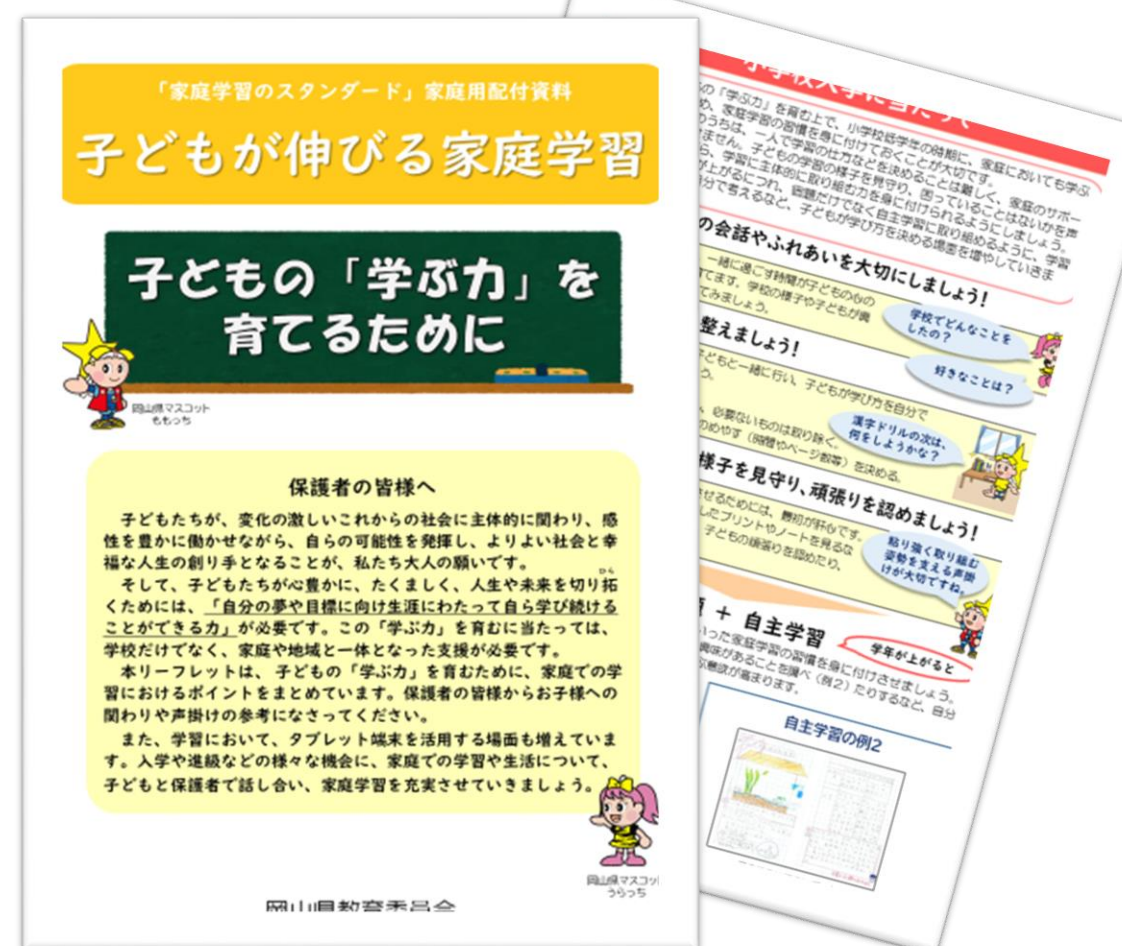


「夢ボイスチャンネル」



「子どもが伸びる家庭学習」

「家庭学習のスタンダード」家庭用配付資料
「子どもが伸びる家庭学習」



【担当課】
岡山県教育庁義務教育課
086-226-7082

関係資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



③ 適切な「スマホ・ネット」の利用について ～すすめよう家庭のルールづくり～

学校では、1人1台の学習者用コンピュータ端末等の導入を進めています。授業や家庭などさまざまな場面において、調べ学習や自分の理解度に合わせた学習などに活用することで、新たな学びの幅を広げています。子どもたちには、インターネット等の便利な面と危険な面を理解した上で、効果的に利用していくことが求められます。「スマホ・ネット」について保護者同士、親子で考える場を設けましょう。



PTAとしてできること(活動例)

- PTAの部会で全校児童生徒の「スマホ・ネット」の実態をアンケートで調査する。
(スマホやネットの使用時間、ルールの有無、困っていること 等)
- 「スマホ・ネット」問題の解決に向けた取組を考える。
(研修会の開催、参観日に親子でルールについて話し合う、各家庭の取組や工夫を広報紙に掲載する 等)



OKAYAMAスマホサミット
公式キャラクター「スマホ太郎」

「OKAYAMAスマホサミット」の開催

岡山県教育委員会では、子どもたち自身の主体的な活動により、ルールづくり等の取組を進める「OKAYAMAスマホサミット」を開催しており、子どもたちが学校の取組発表等を行い、スマホ・ネット問題や適切な利用について考えています。成果報告会には保護者も参加し、PTAでのスマホに関する取組みを発表しました。今年度は、参加生徒と保護者が一緒に、児童生徒、大人、関係機関等にスマホ・ネットの適正利用に向けた提言を作成しました。

「OKAYAMAスマホサミット2024」
成果報告会の動画をご覧ください。



↑「成果報告会ダイジェスト」
※「各校の取組発表」や提言作成の様子をまとめた動画です。

スマホ・ネットに関する参考資料

『スマホ購入』虎の巻!!
～いつか来るその日のために～



『うちの子は大丈夫!!』それって本当ですか!?!
(スマホ・ネット問題に関する啓発チラシ)



「今こそ、見直そう!
わが家のスマホ・ネットルール」

「わが家のスマホアクション」

ペアレンタルコントロールの導入の仕方を事業者別と機種別に動画で説明しており、親子で視聴しながら学ぶことができます。ペアレンタルコントロール機能(利用時間制限、アプリの制限等)を活用するなどして、親子でしっかり話し合っ、ルールを決めましょう。



わが家のスマホアクション 検索



「スマホ・ネット利用を
セルフモニタリングしてみよう!!」



【担当課】

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課
086-226-7589

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



④ デジタル機器と上手に付き合うために

デジタル機器を使う時間があまりに長くなると、人と人とのリアルな関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する学習、地域社会での体験活動などの時間が、少なくなってしまう。

成長期の子どもたちのバランスの良い発達の観点からも、さまざまな経験や活動ができるよう、ご家庭でもデジタル機器全般の使い方について、親子で考えてみませんか？

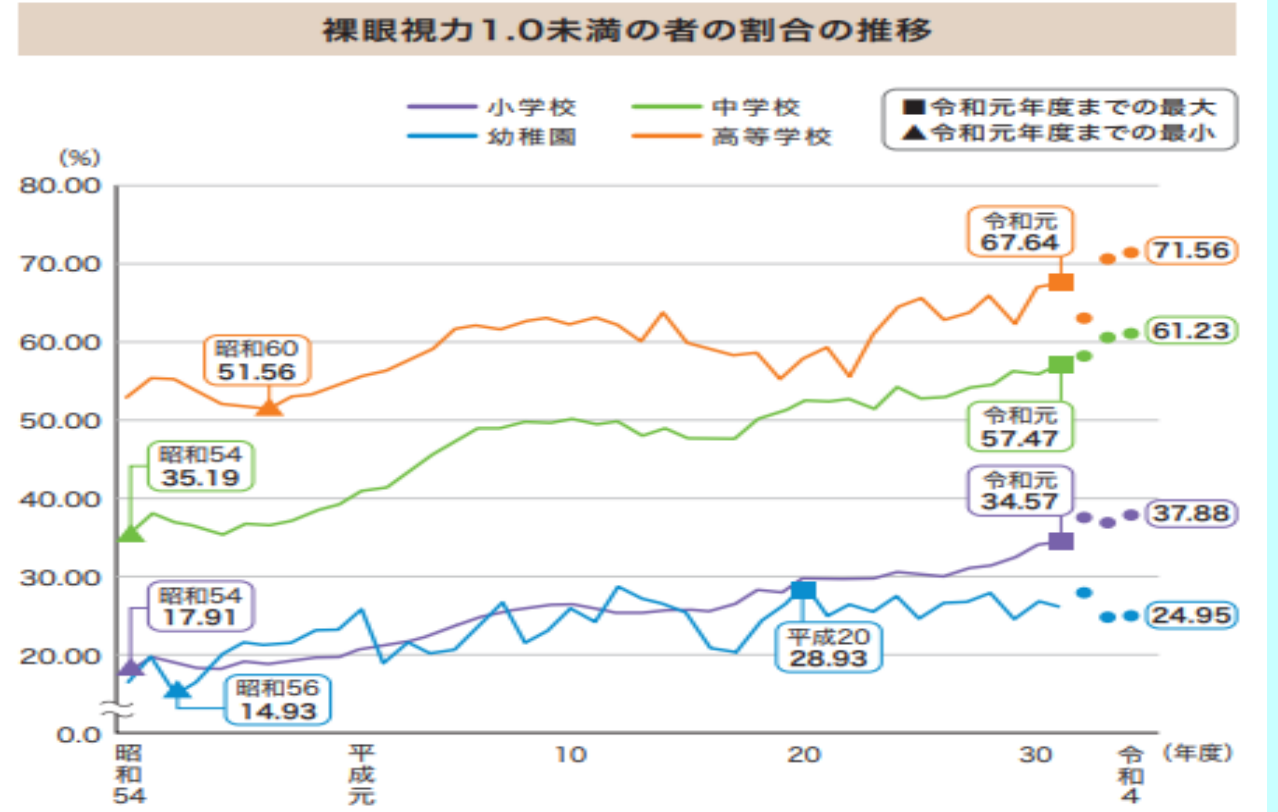


知っていますか…？

裸眼視力1.0未満の子どもの割合が増加しています！

文部科学省の学校保健統計調査において、日本における裸眼視力1.0未満の子どもの割合は、約40年前と比べて増加傾向にあります。

裸眼視力1.0未満の子どもの全てが近視であるとは限りませんが、そのうち、約8～9割は近視であることが指摘されています。



出典:「学校保健統計調査」(文部科学省)

デジタル機器等を使うときの健康面の注意点

目の健康のために ～お願い～



長い時間、近くを見続けないようにしましょう！



明るい部屋で
暗い時は明かりをつけてね



近くで見ない
本や画面を目から30cm以上離してね



時々きゅうけい
30分に1回は体を動かそう！

「子供の目の健康を守るための啓発資料」及び「近視について解説した資料」(いずれも文部科学省)抜粋

依存度をチェックしてみよう！

岡山県教育委員会では、児童生徒のネット依存の実態を把握できるよう、「ネット依存防止マニュアル」を作成し、インターネット上で公開していますので、ぜひご活用ください。

PTA研修会やメディアコントロール週間等でテーマとして取り上げ、親子で上手な付き合い方について考えましょう。

[ネット依存防止マニュアル]

スマホ・ネットとの上手なつきあい方を考えよう!!

岡山県教育委員会
平成30年3月

※ 「様式1」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

あなたは学校、家庭にいて、インターネットをどう使っていますか？

項目	「○」欄
① インターネットに夢中になっていると感じますか？	
② 友達と遊ぶために、インターネットを使う時間を減らしていませんか？	
③ インターネットの使い方を覚悟したり、時間を決めて使ったり、失敗したことがありませんか？	
④ インターネットの使い方を覚悟したり、時間を決めて使ったり、失敗したことがありませんか？	
⑤ 使い始めに比べて、使い慣れたインターネットをいつか使えなくなりましたか？	
⑥ インターネットのために、大切な人間関係、学校のことや休みのことをおぼろしくしたり、忘れていることがありますか？	
⑦ インターネットの中毒のしるしを感じますか？(家族、友達や学校の人のために心配なことがありますか？)	
⑧ 自分よりかわった仲間から選ばれるために、インターネットを使っていますか？	

あなたの「○」の数は 個

【担当課】

岡山県教育庁保健体育課
086-226-7591

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑤生活習慣を整えるための取組 ～チャレンジ・カードのススメ～



基本的な生活習慣を整えよう

基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール、適切な運動、手洗い・うがい等)を整えることは、学習意欲や気力の充実、学力や体力の向上につながるといわれています。

キャンペーン月間(11月)や キャンペーン週間(年3回)があります

岡山県教育委員会では、望ましい生活習慣の確立に向け、「ぱっちり！モグモグ生活リズム向上キャンペーン」を実施しています。

PTAから呼びかけてみませんか？

チャレンジ・カードを使って、生活の“めあて”を決め、2週間のくらしを振り返る『ぱっちり！モグモグ“ツーウィーク”』をPTA活動として取り組んでみませんか。親子で、そして学校全体で取り組むと、子どもたちの意識もさらに高まります。

生活リズム向上のための活動を実践し、特に工夫した取組を行っている学校園・団体を毎年表彰しています。PTAも連携し、ぜひ積極的に取り組んで応募してください。

「ぱっちり！もぐもぐ“ツーウィーク”チャレンジ・カード」に取り組もう

「幼児用」や「生徒用」もあります。

まずは1週間、そしてできたら2週間に取り組んでみましょう！

ボクはあいさつ運動が大好きだよ！
学校に呼んでくれるとうれしいな！



マスコットキャラクターの着ぐるみで、子どもたちを笑顔に！

岡山県「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上マスコットキャラクターの着ぐるみの貸出を行っています！学校やPTAが生活リズム向上のために行うイベント等で、ぜひ御活用ください！



岡山県「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上マスコットキャラクター

詳細情報はこちらから↑

【担当課】

岡山県教育庁生涯学習課
086-226-7597

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑥ 就学前から高等学校卒業後の自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

社会全体で共生社会の実現を目指しましょう！

「共生社会」とは、性別、年齢、障害等、人それぞれの違いを認め合い、互いに支え合う社会のことです。共生社会の実現のためには、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進していく必要があります。

発達障害等について学びませんか？

子どもたちは、私たち身近な大人の考え方に大きな影響を受けます。

PTA研修で共生社会や多様性、発達障害等について正しく理解する機会を作りませんか？詳しくは、「市町村の発達障害に係る相談窓口」又は「岡山県教育庁特別支援教育課」までお問い合わせください。

発達障害とは

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

【出典】
厚生労働省ホームページ

※自閉症・広汎性発達障害、アスペルガー症候群等は、「自閉スペクトラム症」とも呼ばれることもあります。

多様性を認める、受け入れる学校へ！



周囲の関わり方の大切さ

本人の特性

- ・できることと苦手なことの差が大きい
- ・多くの人とは違った感じ方、考え方をする場合がある

気持ちが伝わり、ほめられ、支えてもらうと…

気持ちが伝わらず、叱られ、孤立すると…

自己肯定感が高まり、集団の中で、本来の良さが発揮される

自己肯定感が下がり、望ましくない行動が生じやすくなる

周囲が、本人や保護者に対して温かいまなざしで応援していただくと好循環が生まれます。

合理的配慮の提供について

☆学校における「合理的配慮」とは、障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校教育において、均衡を失した又は過度の負担にならない範囲で行われる、必要かつ適当な変更・調整のことです。

☆学校で提供された合理的配慮の例

- ・個別学習やクールダウンするためのスペースの確保
- ・対人関係の状態に対する配慮（選択性かん黙や自信喪失などにより人前では話すことが難しい場合など）
- ・個別指導のためのコンピュータ、デジタル教材、小部屋等の確保、ICTを活用した読み書き等のサポート
- ・課題量の調整、口頭による指導だけでなく、板書、メモ等による情報掲示 等

☆支援に関する相談窓口を担う教員として、**全ての学校に「特別支援教育コーディネーター」がいます。**学校で行う支援については、担任の先生以外にも各学校の特別支援教育コーディネーターに相談することもできます。

個別の教育支援計画等は学校と本人・保護者が連携して作成や見直しを行い、次の学年・進学先へ引き継いでいきましょう！
また、合理的配慮についても記載しましょう！



【担当課】

岡山県教育庁特別支援教育課
086-226-7912

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑦ キャリア教育への参加

子どもたちは、出会いの数だけ、新しい自分に出会えます

地域の未来を担う子どもたちと地域で活躍する大人が交流できる機会があれば、子どもたちは自分の意志で進路や将来の生き方を選択できるきっかけになるのではないのでしょうか。

多様化する社会において、多くの大人と出会い、様々な職種の仕事を知ることは、子どもたちの人生の道しるべとなります。

PTA活動として、キャリア教育に参加してみませんか？

県内には、キャリア教育の活動にPTA会員が参加し、社会経験や仕事について、子どもたちに語る場面を積極的に設けている学校もあります。PTAの皆さんには、子どもたちが、社会的・職業的に自立して自分らしい生き方を実現していくために、是非、身近な大人として、こうした取組の充実にご協力いただきたいと思います。

PTAと学校がつながるキャリア教育の効果

- 子どもたちは、地域のことを知ることができ、郷土の愛着につながる。
- 子どもたちは、自分の夢や目標を発見することができ、将来の進路選択につながる。
- 大人は、子どもたちの様子がわかり、学校教育への理解につながる。



玉野高校～地域密着型「探究」活動～
高校生が考えるインバウンド
対策を玉野地域へ提言

学校・家庭・地域・企業等が連携したキャリア教育を推進しています！



倉敷中央高校～健康教室のサポート～
地域の高齢者を対象とした
健康教室を企業と一緒に運営



井原高校～企業訪問～
職業観・勤労観等を身に付けるため
地元企業等への訪問・職業体験



東岡山工業高校～企業参加型のPBL～
企業PRチラシを作成するため
広告会社になりきって情報収集



倉敷商業高校～倉商ツムグプロジェクト～
地域の活性化に貢献するため
地元の繊維産業をPR



勝間田高校～伐木チャンピオンシップ～
全国大会出場に向けた
地元企業から学ぶ伐木技術の習得



県教育委員会～「夢育」PBLフォーラム～
企業や大学等と連携し夢を育む
探究活動の成果発表会

【担当課】

岡山県教育庁高校教育課
086-226-7586

詳細情報や取組事例は
こちらから→



⑧ 人権教育の研修を充実させるために

◆なぜ人権教育の研修？

「親の背を見て子は育つ」ということわざがあるように、子どもは意識的、無意識的に親や家族の言動を見ながら育っていきます。そのため、保護者自身が、人権や人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を養うことが大切です。

まずは、研修のテーマを決めましょう！

◆研修のテーマ例(人権課題)

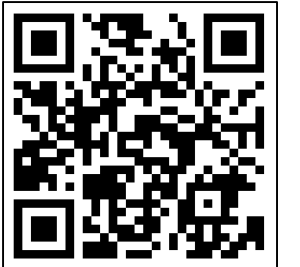
- 女性
- 高齢者
- 同和問題
- ハンセン病問題
- インターネットによる人権侵害 等
- 子ども
- 障害のある人
- 外国人
- 性的マイノリティ

◆学校における研修の具体的なイメージ

すぐにできる人権教育の研修！
人権教育・生徒指導課HPをチェック！

■人権教育講演会

「人権教育講師バンク」において、人権課題ごとに講師を紹介しています。
(登録数 約60名)



■人権啓発動画・DVD視聴

無料でDVD、プレーヤー等の貸出しを行っています。【県生涯学習センター】
視聴後の感想交流も有効です。



■人権教育ワークショップ

交流活動などの参加体験型の研修。
人権問題を自らの課題として捉え、実践的な態度を身に付けることができます。



◆PTA役員等を対象とした研修会を実施しています(令和6年度実績)

- 幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校PTA等指導者人権教育研修会
(岡山教育事務所)

「人権としての性を考えよう ～『生命(いのち)の安全教育』を手がかりに～」

(宇都宮大学 共同教育学部 准教授 良 香織 氏)

- 幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校PTA等指導者人権教育研修会(津山教育事務所)

「『生命(いのち)の安全教育』から子どもの性と権利を考えよう

～子どもに関わるすべての大人ができること～ (宇都宮大学 共同教育学部 准教授 良 香織 氏)

- 高等学校PTA指導者研修会

「市販薬の問題使用とその背景について理解を深める」

(岡山県精神科医療センター 臨床研究部長 橋本 望 氏)

- 特別支援学校PTA指導者研修会

「～子どもとのポジティブな向き合い方～ 「子ども理解とこれからの子育てのヒント」」

(NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク 副理事長 高祖 常子 氏)



【担当課】

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課
086-226-7612

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑨ 「親育ち応援学習プログラム」について

「親育ち応援学習プログラム」で子育てについて
学び合いませんか？



これから親になる若い世代の方から現在子育て真っ最中の方、そして孫育て世代の方まで、幅広い方を対象にしたプログラムがあります。(一部紹介)

入学前の不安解消

「自分でできたよ！
うれしいな
～入学までに
応援できること～」

自己肯定感を 高めるには？

「たっぷり愛して、
しっかり認めよう
～子どもの自己肯定感
を育む関わり方～」

親子で一緒に 学ぶこともできる

「大人と子どもと
ケータイ・スマホ」

非認知能力を 伸ばそう！

「がんばった、
がんばっている姿
を大切にしよう！」



PTAで子育ての不安や悩みについて話し合い、
つながりを深めましょう。

詳しくは岡山県教育庁
生涯学習課のHPをご覧ください。



プログラムをリニューアル中です！

現在39プログラムある「親育ち応援学習プログラム」の内、令和6年度に18プログラムをリニューアルし、ホームページに掲載しています。令和7年度には、さらに18プログラムをリニューアル予定です！

- ・グラフ等の資料を更新
- ・表現等の見直し
- ・アレンジしやすくデータ化

進行役(ファシリテーター)になりませんか？

県内各地で子育て支援・家庭教育支援のための講座
や研修会で『ファシリテーター』が活躍しています。
関心がありましたらお気軽にお問い合わせください。



【お問合せ先】

市町村教育委員会 もしくは

岡山県教育庁 生涯学習課

岡山教育事務所 生涯学習課

津山教育事務所 生涯学習課

086-226-7597

086-221-7776

0868-24-8703

⑩ 子育て支援の情報



ももっこカードにアプリ版!!



協賛店で提示すると、割引や特典など、いろいろな子育て応援サービスを受けることができる「ももっこカード」。カードの表示や協賛店検索、地域のイベント情報通知など、便利な機能を備えた「ももっこアプリ」をダウンロードしてご活用ください。対象世帯は、「18歳未満のお子さんがある世帯」です。

iPhoneから
App Store からダウンロード

Android™から
Google Play で手に入れよう

アプリのダウンロードはこちら

子育ての不安や悩みを抱え込まないように、相談先の情報をPTAで共有しておきましょう

未就学児の保護者の方

ももっこステーション・地域子育て支援拠点

子どもが友達をつくったり、保護者同士がコミュニケーションできて、ほっと一息つける、「子育て中の保護者と子どもの居場所」です。スタッフが子育ての悩みや不安などの相談に乗り、必要に応じて専門機関を紹介します。



詳細はこちら



子育てや家族のことでお悩みの方

電話相談窓口 / SNS相談窓口

■子ども・家庭電話相談室
TEL:086-235-4157
月～土 9時～20時
(祝日、年末年始を除く)

詳細はこちら

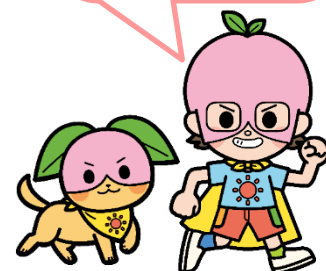


■親子のための相談LINE
月～金 10時～19時
(祝日、年末年始を除く)

友だち追加はこちら



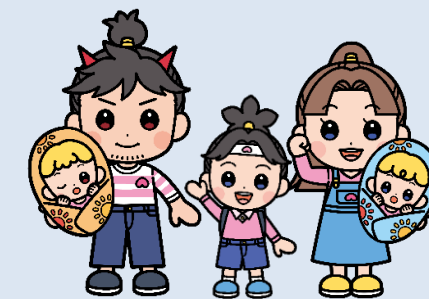
市町村の相談窓口はこちら



【青少年総合相談センター(ハートフルおかやま110)】

■総合相談窓口
TEL:086-224-7110
8時30分～21時30分
年中無休(年末年始を除く)

■LINE相談(友だち追加の上ご利用ください。)
アカウント名「ハートフルおかやま110」
LINE ID:@hfokayama
火・木・土 17時～21時
(年末年始を除く)



詳細はこちら



子どもの急な病気で不安な時

小児救急電話相談

#8000または086-801-0018

夜間の急な発熱、けいれんなど子どもの具合が悪くなった際の保護者等の不安や、症状への対応方法等について、看護師等が電話で相談に応じ、医療機関への受診についてのアドバイスを行います。

- 対象者 県内にお住まいのおおむね15歳以下の子ども及びその保護者の方
- 相談対応時間 ○月～金 19時～翌朝8時
○土曜日 18時～翌朝8時
○日曜日、祝日及び年末年始 8時～翌朝8時



詳細はこちら



【担当課】

【ももっこカード、ももっこステーション等に関する事】
岡山県子ども・福祉部子ども未来課
086-226-7347

【電話相談窓口、SNS相談窓口に関する事】
岡山県子ども・福祉部子ども家庭課
086-226-0557

【小児救急医療電話相談に関する事】
岡山県保健医療部医療推進課
086-226-7403



詳しくはポータルサイト「はぐくま〜れ」